

ガンコ親父の

「いやあ、去年はクールビズ用のシャツをプレゼントしてくれ
たし、それにね、僕の似顔絵まで付いていたんだ」「俺のこは
娘が感謝状をくれるんだ。パパありがとつて、ミミズが這っ
たような字でね。くく」

松次郎の会社でも、若いパパ連中が父の日の「嬉しさ」を語り
あっていた。幸せが見て取れる光景だ。松次郎も、毎年息子達が
くれるプレゼントを楽しみにしていたし、その家庭環境に感謝
していた。

先日、出勤途中で出会った女性が松次郎に挨拶をしてくれた。
見かけた時はいつも明るい笑顔をく
れる気持ちの良い女性だ。実は、そ
の女性の亡くなった夫が松次郎の
会社の元部下だったこともあり、
知っていた。

その夫が亡くなってからも、
毎年よこしてくれる年賀状から、
子供と二人暮らしだということも
分っていた。

女性には小学校低学年の男の子がいる。
当然その子はこの数年の間、自分の父親が
いない「父の日」を過ごしていたことになる。
だとすれば、世の中が父の日のことで賑わっ
分だけ、その子は寂しい思いをしていたはずで
ある。多くの人で賑わう雑踏の中にこそ「孤独」が
あることを、松次郎は独身の頃に嫌という程味わって、
知っていた。

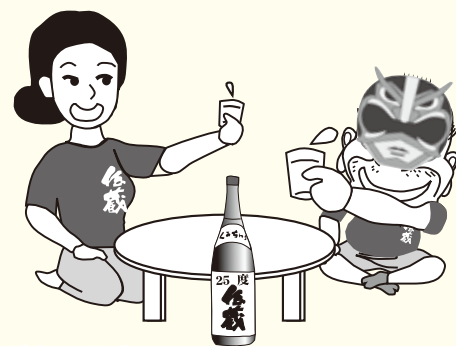
松次郎はその男の子のことを思ったとたん、
居ても立ってもいられなくなってしまう。直情型
の気質はすぐに行動を促した。

やっぱ子供にとつての父親はヒーローでなくてはなら
ないだろう。父親の記憶がおぼろげなその子に、君の父親は
立派だったという言葉を贈ろうと思った。子供の心の中で、
立派な父親像が育ってくれたら幸せだ。松次郎はその子の
父親の上司だったこともあり、何か書けると思った。

松次郎は過去の記憶を探ってみた。その部下は独身
時代によく遅刻をした。お世辞が言えなかったし、
女性に気の利いたジョークのひとつも言えな
かった。根回しが下手で、会議で自分の意見
が通ることはなかった。融通が利かずに何度
も得意先を怒らせてしまった。飲み会で、今日
は無礼講だからと言ったら、松次郎の気に
障ることを本気でならび立てた。
と、あまりにも良い記憶がない。

どんなに考えてもヒーローの
条件を満たすものは出て来なかった。
松次郎は何回も文章を作り直したが、
ちり箱の餌になるばかりだった。父の
日が迫った夜、困り果てた松次郎は
「しまっちゅ伝蔵」を飲みながら、もう一度
頭を整理しようとした。それが功を成した
のか、一口すすったとたん、何かが松次郎の
心にすっと降りてきた。これだ、と松次郎は
確信した。一週間悩み、重苦しかった心が
急に軽くなった。「おっ、い、母さん。一緒に
一杯やらんか？」と上機嫌になり妻の
貴代を呼んだ。

松次郎は紙面のまん中に
一行だけ書き記した。君のお父
さんはどんな時も、絶対に嘘
は言わない男だった。と。しかし、
よく考えてみると自分の
若い頃のようにもある。
へへ、俺みたいに
イイ男だったとは…。



しまっちゅ
伝蔵
でん
ぞう

常圧蒸留

昔ながらの手造り
こだわり焼酎

喜界島の豊沃な大地の恵と豊
かな自然の中で、永年の伝統
に受け継がれた製法でじっく
りと醸しあげた「しまっちゅ
伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に
出し昔ながらのコクのある味
と香りです。



900ml (25度) 1800ml (25度) 1800ml (25度)

2014年春季全国酒類コンクール・黒糖焼酎部門第1位受賞

喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
☎0997(65)0251

2009年10月喜界島は
「日本で最も美しい村」連合
に選ばれ加盟しました。
喜界島酒造はこの活動を
応援しています。



父の日に乾杯!

25度
好評発売中

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児に悪影響を与えるおそれがあります。